



大阪市と「子どもの未来を拓く」連携協定

こども貧困対策や教員の資質向上をめざし 連合教職大学院に講座（教員組織）を設置

大阪教育大学（栗林澄夫学長）は、大阪市（吉村洋文市長）と「子どもの未来を拓く大阪市と大阪教育大学の包括連携協定」を2月21日に締結しました。

大阪市教育委員会と連携し、平成30年度から大阪教育大学連合教職大学院（大阪教育大学・関西大学・近畿大学との連合大学院）に教員組織である「大阪市教員養成協働研究講座」を設置します。大阪市の最重要施策であるこどもの貧困対策や、次世代の学校を担う中堅教員および管理職層の資質向上をめざします。同講座には、学校での現場経験がある元校長などを特任教員として配置し、研修プログラムの開発や大阪市が抱える教育課題への対応に取り組みます。教員養成系大学が、自治体との連携による講座を設置することは、全国でも例をみない先導的な取り組みです。

また、学部学生が大阪市の学校で教育実習やインターンシップを行うとともに、こどもの居場所支援などのボランティア活動にも参加します。

【協定内容】

1 目的

両者が包括的な連携のもとに、それぞれ行政機関、教育研究機関として有する豊富な人材・情報・知見などを活かし、大阪市における課題の解決に取り組むとともに、大阪教育大学における教育・研究の充実、発展に資することを目的とする。

2 連携事項

次の事項について連携協力します。

- (1)子どもの教育の推進に関すること
- (2)子どもの貧困対策の推進に関すること
- (3)子どもの安全と健康に関すること
- (4)子どもに関わる人材（教員等）の活用と育成に関すること
- (5)地域の活性化に関すること
- (6)その他両者が必要と認める事項に関すること

【問合せ先】

大阪教育大学総務課広報室 大野, 吉田

TEL:072-978-3344 FAX:072-978-3225 メール:kouhou@bur.osaka-kyoiku.ac.jp